

洪水の安全

洪水は、最も多く、被害の大きい自然災害のひとつです。洪水は、数時間または数日、激しいまたは一定した量の雨が降り、地面が飽和状態になるために発生します。鉄砲水は、河川または低平地に沿って、水位が急速に上昇することから突然発生します。

米国赤十字ベイエリア支部では、洪水が発生した際に、皆様と皆様のご家族が安全を確保できるよう、次の情報を提供しています。

プランを立てる

事前にプランを立てておくことは、洪水発生に備えた準備の第一歩です。

- **連絡プランを立てる：**災害の発生後は、市内電話より市外電話の方がつながりやすくなることもあるため、市外にいる誰かに連絡の中心ポイントになってもらうとよいでしょう。この連絡先に、家族全員が状況を知らせ、その情報をほかのメンバーに知らせてもらいます。市外の連絡先となる人に、家族の連絡プランを知らせておいてください。小規模の災害に備えて、近くの緊急連絡先も決めておきます。
- **災害後に落ち合う場所を決めておく：**突然の災害が発生した場合に落ち合う場所を、自宅の近くで決めておきます。自宅に戻れない場合に備えて、自宅から離れたところにある2番目の場所を選びます。また、勤務先、学校、保育所などの避難場所を確認してください。
- **避難経路を決める：**自宅の各部屋から出るための経路を2つ見つけ、近所の避難経路を確認します。
- **ペットのプラン：**盲導犬などの介助動物を除き、ペットを災害シェルターに同伴することはできません。このため、家族、友人、ペットホテル、獣医、ペット同伴可能なホテルなど、緊急時にペットを預けることができる場所のリストを準備しましょう。（詳細については、「ペットのプラン」をご覧ください。）
- **個人のニーズに合わせてプランを調整する：**特別なニーズがある場合は、緊急時に隣人、友人、親戚などに自分の居所を確認してもらうよう依頼します。



- プランを見直し、練習する

キットを用意する

少なくとも3日間分の家族全員の物資を用意します。ペット、幼児、高齢者、障害を持つ方に必要なアイテムを含めてください。自宅、勤務先、車にキットを備えておきます。

- 長期保存可能な食品：栄養補助食品（エネルギーバー）、缶詰のスープ、ピーナツバターなどのアイテムを含めます。
- 1日1人あたり1ガロン（約3.8リットル）の水
- 救急箱と薬品
- 懐中電灯、電池駆動または手回しラジオ、基本的な工具、地図：電池、ガス漏れが発生した場合にガスを止めるためのレンチ、缶切り、ドライバー、金槌、ペンチ、ナイフ、ガムテープ、ゴミ袋を含めます。
- 衣服と丈夫な靴：雨具を含める
- 個人の持ち物や衛生用品：重要な書類、衛生用品、本やおもちゃなど落ち着くために必要となる物をまとめておきます。
- 小銭を含む現金
- 緊急連絡先

情報を得る

自分を守る方法を身につけるとともに、洪水の前、発生時、発生後にほかの人を助けるためのトレーニングを受けます。

洪水が発生した時

- 740 AMまたは88.5 FMにラジオを合わせて、緊急勧告や指示を聞き、通達があったらすぐに避難で

きるよう準備します。お住まいの地域で洪水や鉄砲水の警報が発令された場合は、より高い場所に向かい、そこにとどまります。

- 出水に近づかないでください。水位が足首以上で、流れている水の場合は、水の中に入らず、引き返して別の道を進みます。水位が15cmほどでも流れている水には、足をすくわれることがあります。
- 運転中に道路が浸水している場合は、引き返して別の道を進みます。浸水した道路で立ち往生し、水位が急速に上がってきた場合は、車からすぐに出て、より高い場所に移動します。水位が60cmほどでも流れている水には、ほとんどの車が流されます。

洪水の後

- 地域の警察や市の職員が安全であると宣言した場合にのみ、自宅に戻ります。自宅に入る前に、電線がゆるんでいないかどうか、ガス管が損傷していないかどうか、土台にひびが入っていないかなどの損傷を外から確認します。
- 天然ガスやプロパンガスのにおいがする場合やシューシューという音が聞こえる場合は、消防署に直ちに連絡してください。
- 電線が自宅の外の地面に落下している場合は、水たまりに入らないでください。
- 清掃の際には、ゴム手袋、ゴム長靴など、防護服を着用してください。
- 食品と飲料水が安全であることを確認します。水に触れた缶詰の食品、ウォーターボトル、プラスチックのナイフやフォーク、ほ乳瓶の乳首などは、破棄してください。疑わしいときは、破棄することです。
- 汚染されている可能性のある水は、食器を洗う、歯を磨く、食物を洗う、手を洗う、氷を作る、ミルクを作るなどには使用しないでください。災害時、水が汚染されている可能性がある場合は、沸騰させるなど、地域の水の取り扱いについて特定の指示を衛生課に問い合わせます。